

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0171200157		
法人名	医療法人社団 恵庭南病院		
事業所名	グループホーム 恵風		
所在地	恵庭市緑町2丁目12番12号 (電話) 0123-34-1922		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年 2月10日	評価確定日	平成21年3月30日

【情報提供票より】 ( 21年 1月 6日事業所記入 )

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年 5月 20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 0人, 常勤換算	3.4人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1～2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000円～38,000円		光熱費	13,200円
			暖房費(11月～4月)	7,500円
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無		有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,100 円			

### (4) 利用者の概要( 2月10日現在 )

利用者人数	9名	男性	4名	女性	5名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	4名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87.7歳	最低	80歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 恵庭南病院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営母体である病院は、通所リハビリ、訪問看護、訪問リハビリ、ケアプランステーションなど一連の介護保険関連事業を行ないながら、地域の介護福祉のパイオニアとして貢献しています。グループホーム恵風もその一端を担いながら、家庭的な環境を維持しつつ、利用者にとって掛けがえのない暮らしを支援しようとの強い意向が感じられます。管理者及び職員も母体の病院での介護経験者で、高齢者介護にも精通しており、家族の安心と信頼が寄せられています。運営者は災害対策にも大きな理解を示しながら、スプリンクラーの早期設置にあたるなど、先を見越した取り組みが行なわれています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>昨年からの取り組み課題である災害対策では、地域住民が参加し、夜間を想定した避難訓練も行なわれるなど、改善に向けた果敢な取り組みが見られます。地域住民の協力をいただいた災害への対応は、これからも継続した取り組みが期待されることです。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義と活用について、職員全員で事前に話し合われてから自己評価作業に入るなど、取り組みが真摯に行なわれています。今回の外部評価に対しても、職員の前向きな対応が良い結果をもたらし、サービスの質の向上に資することを期待します。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>これまで15回の会議開催を経て、それぞれの討議がサービスの向上に反映されるなど定着の感がありますが、メンバーの固定化、また、協議される議題内容にも、若干柔軟性に欠ける点も視えるため、今後柔軟な取り組みにより、一層の活性が求められます。具体的には、家族や地域の住民など、幅広い呼び掛けによりメンバーとさせていただき、また、討議の内容も認知症に対する知識への対応や啓発など身近な題材に基づく勉強会の導入、評価での取り組み経過を提示しながら、モニター役を担っていただくなど、興味のわく柔軟性を取り組みに加えるよう期待します。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の訪問頻度が高く、来訪時の会話の中から、意見や要望、苦情などを聞き取るようにしています。訪問ができない家族へは電話を利用して行なわれるなど、日頃のコミュニケーションを大切に、意見などが言いやすい環境作りをするなど、ホーム運営の改善に役立てています。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>管理者及び職員は、「ホームも地域の一員、利用者もまた地域の一員」との認識を十分理解しながら、町内会の行事にできるだけ参加をするなど、日々の実践に努めており交流の深まりが覗うことができます。散歩の折には、近くの住民の方々との明るい挨拶、窓越しに手を振っていただく住民に利用者も返礼するなど、些細ではありますが温かな交流が次第に増えています。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着のサービスを展開するために作られた理念には「地域との触れ合い、交流を大切にします」が掲げられ、日々のホーム運営に反映させています。ホーム内には、大きな手書きの理念がロビーに、また居間に掲示されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	簡潔な運営理念は、職員も容易に理解しやすく、利用者と共に暮らす中で着実に実践されています。また、毎月の定例開催される職員会議においても理念の確認をしながら共有を図っています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の会員として、町内の清掃や婦人部主催の親睦会など、できるだけ参加して交流を深めています。散歩の途中、挨拶を交わす、また、居間の窓辺で寛ぐ利用者と通行中の住民との挨拶など、地域の一員として定着が覗い知ることができます。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者及び職員は評価の意義と活用について十分熟知しており、今回の自己評価にあっても職員全員の参加で作られ、取り組みへの真摯な対応が評価されます。今後は、計画的な取り組みを行なうため「改善計画シート」の導入も考慮されています。		

恵庭市 グループホーム 恵風

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	これまでに15回の会議が開催され、ホームの状況報告や行事の予定など詳しい報告と質疑応答が議事録から視えますが、出席メンバーの固定化及び議題に若干柔軟性に欠ける点が視えます。	○	ホーム運営の理解を広げるため、多くの家族の参加と地域住民の方々を柔軟にメンバーとして迎えるなど、活発な会議の中からサービスの質の向上を図る取り組みが期待されます。また、自己評価と外部評価を開示しながら、それら改善に向けた取り組みのモニター役を担っていただく働きも期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センターを通して空き室情報を流して、担当窓口との連携が図られています。また、生活保護に係わる制度上の相談や指導をいただきながら、ホーム運営に役立てています。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問頻度は高く、来訪時の家族との会話を大切にしながら、利用者の暮らしぶりなど近況を報告しています。写真が満載された「恵風便り」は2カ月に1度の送付、また、利用者一人ひとりの手書きのメッセージが職員の手で作られ、金銭管理や請求書と共に送付され、家族との良好なコミュニケーションに役立てています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	主に家族の来訪時に、意見や要望、また、苦情などを聞くようにしています。訪問できない家族へは電話などで聞くようにしています。玄関には「ご意見箱」の設置も見られますが、あまり利用されておらず今後の検討課題となっています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者の意向で、異動は極力避けるようにしているため、職員は現場でのキャリアを十分に発揮できる体制ができています。利用者も母体の病院やデイサービスからの入居が殆んどであり、ホームに対する馴染みができています。また、職員が異動する場合も1カ月の引継ぎ期間を設けるなど、利用者や職員の親しい関係作りで、ダメージの防止に努めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部では母体の病院が主催する勉強会が毎月行なわれるほか、現場での体験を下にした事例発表が当番制で開催するなど、職員のスキルアップに努めています。また、外部の研修への参加も均等に機会を作りながら、多くの職員が出席しサービスの向上に役立てています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の9箇所のグループホームで作る管理者会議では、ネットワーク作りによる交流を盛んに行なっています。職員同士が集い、事例を出し合いながら研鑽に励んでいます。相互訪問も計画的に行なえるよう検討がされています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	母体の病院やデイサービスからの入居が殆んどであるため、職員との顔馴染みや病院からの十分な情報をもとに、ゆっくりとしたサービスが行なわれています。家族とは生活歴など病院の情報にない部分を話し合いながら、暮らしに反映するように努めています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の仕方、味付け、花の苗の知識を教えていただき、また、戦時中の自叙伝などを語っていただき平和の尊さを共に考えるなど、一緒に暮らす中で利用者と職員が学びあい、支え合う関係作りができています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、まず笑顔を大切に利用者に語りかけることにしており、返ってくる利用者の笑顔のなかから、思いや意向を上手に把握するようにしています。また、把握などが困難な場合は、利用者の立場に立って利用者本位の検討を進めています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居始めは、暫定的なプランでモニタリングを十分に行ないながら進められ、家族の意見を重要視しながら、利用者本位の介護計画が作られています。家族には前回の経過を説明して、次の計画に至った経過も説明をするなど、家族が納得いただけるよう信頼関係の構築が大切と考えています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月を期間として見直しが行なわれています。職員は日々、利用者に変化がないかを注意深く確認しながら、見直しへ反映するようにしています。状況の変化に際しては、即座に現状にマッチした計画に見直すなど、臨機応変な作業が行なわれています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	遠方から来訪した利用者の身内の方に対しては、2日に亘り利用者と共に寝泊りして過ごされる支援、家族の状況や要望に応じて、買物、ドライブ、外食、利用者の住んでいた住宅訪問、また、ドックセラピーや託児所の幼児達との交流など、ホームの持つ多機能性を発揮した支援が続けられています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の殆んどが母体である恵庭南病院から退院した方々で、継続した受診と治療が円滑に行なわれています。管理者はじめ職員も当該病院での経験者で占められており、かかりつけ医との連携した支援が行なわれています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームへ入居する際には「重度化した場合の対応」を記した指針を、利用者と家族に説明し同意をいただいています。現在、重篤な状態を迎えた利用者は、家族の希望も取り入れ病院へ転院されている場合が多い状況下にあります。将来的には看取りに対応しての取り組みも考慮されています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の情報取り扱いについては、十分な配慮で守られるようにしています。最小限の情報使用については、利用契約の際に同意書をいただいて、運用しています。職員は日常のサービス提供に際しても、言葉かけや対応に気配りをして、利用者の誇りや尊厳を傷つけないよう努めています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家族からの情報や要望、生活歴を把握しながら、利用者にとって一番良い暮らし方ができるよう支援しています。食事に際しての一人ひとりのペースが優先された様子が覗い知ることができました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は自ら好みの席で食事を楽しんでいます。職員も間に座って食事をしながら、利用者一人ひとりに話しかけるなど、和やかな雰囲気作りに努めています。献立表は母体の病院の栄養士によって作られますが、週に1度は利用者の好みのリクエストに応えながら、自前の料理が作られ提供されています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の状況を勘案しながら、少なくとも週に2度の入浴ができるよう、また、無理強いない支援が行なわれています。状況によってはシャワー浴や清拭も交えるなど、清潔が保持できるよう配慮がされています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者や家族からいただいた生活歴などの情報をもとに、自力で行なえる事柄への支援をしています。カレンダーめくり、茶碗拭き、タオルたたみ、料理の下拵えなどの役割を持つこと、また、テレビの歌謡番組、ドライブや外食など、楽しんでいただける企画が作られ支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	閉じこもりを避けるため、天候を考慮しながら、散歩や外での日向ぼっこを日常的に取り入れるよう支援しています。また、デイサービスのバスを利用した郊外の紅葉見学やえこりん村の庭園観賞、正月の神社参拝などが計画的に実施され利用者は楽しまれています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵がありません。夜間のみ防犯上、施錠が行なわれています。また、日中は玄関の鍵はかけずにアラームにより出入りが察知されていますが、万一、離設が起きた際の捜索マニュアルなど対応が十分ではありません。	○	管理者及び職員は、鍵をかけることの弊害を十分に認識していますが、利用者の不意な離設が生じるなど、臨場に際しての適切なマニュアルを作り、普段より近隣住民や商店などの協力を要請するなどの取り組みを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	今年、消防署の協力をいただいて、夜間想定も含めた避難訓練が行なわれており、近くの住民も参加いただいています。また、今年の3月までには、ホーム内のスプリンクラーが設備されることとなっています。	○	災害に対する意識の高さは評価されます。今後は、近隣住民の多くの理解と協力を要請する取り組み、また、住民には協力の範囲を予め決めて要請するなど、細やかな取り組みが期待されます。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体病院の栄養士が作るカロリーや栄養に配慮された献立で食事が提供されています。ホームでは利用者一人ひとりの状態に合わせた刻み食を加えるなど、工夫して食事の摂取量の確保に努めています。また、毎日の水分摂取は細やかな記録により職員全員の気配りが見られます。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、広間兼食堂など広くはありませんが、家庭的な雰囲気があり、利用者同士の親密な暮らしが覗えます。居間の吹き抜け天井からの陽射しも温かく、居心地の良い共用空間となっています。廊下には、利用者の笑顔が満載の写真が貼られているなど、楽しめるギャラリーとなっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く、ゆったりとした空間の中に利用者の使い慣れた馴染みの用品が持ち込まれ、安心の暮らしが継続される空間となっています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。